



FILE 01

“TIERRA” 周年記念事業

○サンクトペルテン市提携55周年記念事業

訪問団派遣

河田倉敷市副市長を団長とする倉敷市・サンクトペルテン市姉妹都市提携55周年記念訪問団34名が、10月29日～11月4日までの7日間、ウィーン、サンクトペルテン（オーストリア）とプラハ（チェコ）を訪れました。

サンクトペルテン市滞在中は、表敬訪問・記念式典・祝賀会といった記念事業や市内観光などを通して、両市の交流を振り返るとともに、姉妹都市の絆をより一層強くしました。

オーストリアでは他に、シェンブルン宮殿やメルク大聖堂など、チェコでは、チェスキークロムロフ城やカレル橋など、多くの世界遺産を視察して、歴史・文化に触れました。



ロベルト・レイバウマー氏来倉

オーストリアを代表する著名なピアニスト＆オルガニストであるロベルト・レーバウマー氏が来日。サンクトペルテン市と倉敷市の姉妹都市提携55周年の記念事業として、くらしき作陽大学のご協力のもと、パイプオルガンを備えた“聖徳殿”で、パイプオルガン・ピアノコンサートが開催されました。

深まる秋の夕べ、バッハやモーツァルトなどの名曲が次々と演奏され、そのえも言われぬ魅惑的な音色に、超満員にふくれあがった会場は酔いしれました。



○カンザスシティ市提携40周年記念事業

訪問団派遣

三宅倉敷市副市長を団長とする倉敷市・カンザスシティ市姉妹都市提携40周年記念訪問団21名が、7月17日～23日までの7日間、カンザスシティ市とサンフランシスコ市に滞在しました。

カンザスシティ市滞在中は、表敬訪問、記念式典・祝賀会といった記念事業や市民交流事業、さらには日米桜寄贈100周年記念式典や米国中部日米協会創立50周年記念式典への参加などを通して、両市の交流を振り返るとともに、姉妹都市の絆をより一層強くしました。

サンフランシスコ市では市内とナパ・バレーを視察して歴史・文化・自然に触れました。



訪問団受入

米国中部日米協会長のパティ・ウッズ氏を団長とする提携40周年を記念したカンザスシティ市民訪問団21名が、10月14日～17日までの4日間、倉敷に滞在しました。倉敷滞在中は、表敬訪問・記念式典・祝賀会といった記念事業や市民交流事業を通して、両市の交流を振り返るとともに、姉妹都市の絆をより一層強くしました。

また、訪問団は倉敷の美しい街並みを見たり、地酒・畳・学生服など倉敷の伝統、地場産業を体験したりしました。





FILE 02

“TIERRA”



姉妹友好都市との交流事業



＜青少年生活体験団＞ カンザスシティ

カンザスシティ市(36 回目)に、7 月 25 日～8 月 10 日の期間、高校生 7 名と引率者 1 名を派遣しました。

今回も受け入れ先のカンザスシティ中部日米協会やホストファミリーなど関係者の皆様の多大なご協力のもと、子ども達は数々の有意義な体験をすることができ、大きく成長して帰ってきてくれました。

※なお、クライストチャーチ市への派遣は、現地での地震の影響により中止となりました。



＜学生親善使節＞ カンザスシティ

7 月 14 日～7 月 31 日の期間、カンザスシティ市から 4 人の女子高校生が来倉し、日本の生活を体験しました。

彼女たちは、倉敷市内でホームステイをしながら、青陵高校 E S S 部と交流したり、倉敷カンザスシティ市民交流協会の皆さんと備前市へ出かけたりと様々な日本文化の体験をしながら、ホストファミリーの皆さまとの楽しい思い出を胸に、元気に帰国しました。



＜少年少女友好の翼訪中団＞ 鎮江

中国の友好都市「鎮江市」と首都「北京市」に 8 月 6 日～11 日の期間で小学 5・6 年生 16 名を引率者 5 名と共に派遣しました。鎮江市では、ホームビジットや現地小学生との交流会で友好交流を深め、北京市では、万里の長城や天安門広場など、中国のスケールの大きさや悠久な歴史を感じました。忘れられない夏休みの思い出とともに、ひとまわり大きく成長させてくれた中国訪問でした。



＜短期留学生受入＞ サントペルテン

サントペルテン市から、7 月 4 日～7 月 25 日の期間にアストリッド・ムルヴォーヴァさんが、2 月 18 日～3 月 17 日の期間にヴェリーナ・レーナーディテンバーガーさんがやってきました。二人は、それぞれホームステイ生活をしながら、学校通学体験をし、オーストリアとは全く違う日本の文化に触れ、日本の日常生活を満喫していました。特に、ホストファミリーとの楽しい日々は、彼女たちにとって、忘れられない思い出になったようでした。



＜障がい者親善大使派遣＞ クライストチャーチ



クライストチャーチ地震からちょうど 2 年後の平成 25 年 2 月 22 日に第 4 回障がい者親善大使 5 名がクライストチャーチ市に向けて出発しました。現地では市長表敬訪問や各種団体との交流、観光など盛りだくさんのメニューを大使たちは満喫しました。

一方で一部倒壊したままの大聖堂など震災の爪痕を目の当たりにしました。地震の恐ろしさを再認識するとともに、更なる復興に向け、前向きに取り組んでおられる現地の皆様から元気を頂いて帰ってきました。

またこの事業のスポンサーであるインディペンデントフィッシャリーズ社チャールズシャーボルト社長にお会いして感謝の気持ちを伝えることができました。





FILE 03

“TIERRA”

国内事業

倉敷国際ふれあい広場：10月21日



秋の澄みわたる晴天の下、22回目となる倉敷国際ふれあい広場2012が開催されました。会場の倉敷市芸文館・友好の広場には、日本人だけでなく様々な国にルーツをもつ人々が集まり、世界のフードコートやフリーマーケット、世界各国の歌や踊りのパフォーマンスや和 문화ワークショップ、英語俳句、外国人なんでも相談コーナー、民族衣装の試着などのプログラムを通して、国際理解と交流を深めました。また今年は、世界のフードコート内で、リユース食器を使用することで環境にやさしいイベントを行いました。

倉敷イングリッシュキャンプ：8月27日～28日

24回目を迎えた倉敷イングリッシュキャンプ2012は、157名の中学生が集まり、由加山の倉敷市少年自然の家で1泊2日で行われました。今回のテーマは「オリンピック」。“国”別の16チームに別れ、学生が開会式でそれぞれの国歌で入場し、“金メダル”を目指し、2日間英語を使いながら活動に取り組みました。

1日目は、グループ競争と夕食の後、「ファイヤボール」で始まる大人気Nighttime。2日目は、倉敷市内で教えているNET（ネイティブ・イングリッシュ・ティーチャー）達が、個性を生かしてそれぞれの趣味や母国の文化を紹介する「クラス活動」を新たに行いました。先生方や学生へのアンケート結果から見ても今年も大成功でした。



多文化共生事業 「外国人と共に学ぶ災害時対応」研修会

<セミナー：2月3日>

（特活）多文化共生マネージャー全国協議会事務局長の時光さんが「災害時外国人支援ボランティアに求められる役割～東日本大震災の経験から～」と題して、災害時の外国人住民の心情や課題、ボランティアが持つべき知識や心構えについてお話いただきました。その後のグループワークでは、災害時にボランティアとして自分はどうなことができるか、参加者同士で意見交換しました。



<実習：3月3日>

午前、倉敷市防災危機管理室の指導の下、会場を真っ暗にして停電時の避難所を疑似体験したり、少量の水で米を炊く方法を学んだりしました。

午後は、多言語支援チームと被災者チームに分かれ、災害多言語支援センターの訓練を行いました。支援チームは巡回場所の確認や避難所に持っていく情報の検討、役割分担など、限られた時間内に大量の業務をこなすセンターの役割を体験しました。そして避難所巡回訓練では、支援チームが被災者のもとを回り、出身国や話せる言語を確認しながら多言語で情報伝達をしたり被災者から困っていることを聴き取る訓練を行いました。





FILE 04

"TIERRA"

国内事業

国際協力・貢献事業

ヨルダン ボランティア活動報告 &異文化体験セミナー: 1月20日

死海の街の職業訓練校で働くことの大切さを伝えた松本さんと、パレスチナ難民局で美術を教えた田淵さんの2人が、2年間の活動を通して感じたことを報告しました。

プチャラビア語講座では、「おかげさまで」を意味する「アルハンドリッラー」についてどんな場面で使用するのか具体的な例を通して、文化の違い・共通点を知ることができました。

また、ヨルダン料理「ホンモス」の試食や民族衣装の試着体験、写真展示など体の5感を通して国際理解を深めることができました。



外貨コイン募金

旅行や出張で海外から持ち帰った外貨コインは国内では両替できず、家庭で放置されていることが多いことから、当協会では倉敷市立短期大学と連携し、昨年8月から国際貢献の一環として外貨コイン募金を行っています。

今年度外貨の分類集計作業を終え、72か国のコイン約18万円を日本ユニセフ協会に寄付することができました。みなさまからいただいた寄付は発展途上国の支援に役立てられます。

今後も継続していきますのでご協力よろしくお願いします。



ボブ・パーカークライストチャーチ市長訪問団



3月15日に姉妹都市クライストチャーチ市のボブ・パーカー市長夫妻が一昨年のクライストチャーチ大地震への支援の御礼等の目的に来倉されました。

滞在中は、クライストチャーチ倉敷姉妹都市委員会デービッド・ボースミス会長夫妻も同行され、市長表敬訪問の外、市内観光、地元産業の視察等を行い、3月17日に出発されました。



【会員募集中】

倉敷市国際交流協会では会員を募集しています。年会費は一口2,000円、法人・団体が一口5,000円です。会員の方には、講座・イベント情報や協会紙をお送りするほか、講座受講料が無料・もしくは割引になるなどの特典があります。国際交流等のテーマに少しでも関心をお持ちの方はぜひ協会にご入会ください。詳細は倉敷市国際交流協会事務局まで。

【発行者】倉敷市国際交流協会事務局

〒710-8565 倉敷市西中新田640
TEL:086-426-3015 FAX:086-426-4095
E-Mail: intntnl@city.kurashiki.okayama.jp
URL: <http://www.city.kurashiki.okayama.jp/kurakoku/>
ツイッター: <http://twitter.com/#!/kurakoku>



<団体活動紹介記事募集!!> 法人・団体会員のみなさんへ

当協会紙TIERRAに、団体活動を掲載してみませんか？ 掲載ご希望の場合は、事務局までご連絡ください。



環境にやさしい植物性インキ
再生紙を使用しています。